

2008年3月期 中間決算説明会

西日本鉄道株式会社(9031)

2007年11月16日(金)

西日本鉄道(株)の概要



基本情報

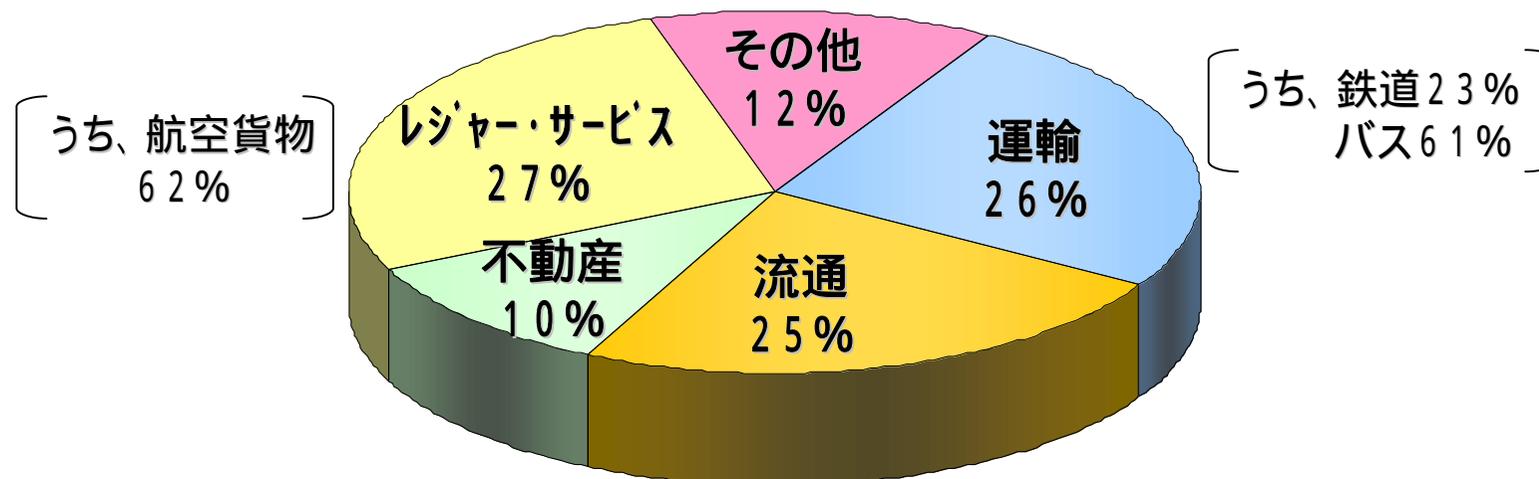
設立	1908年12月17日
資本金	261億5,729万円
代表者	取締役社長 長尾 亜夫
グループ会社	子会社85社及び関連会社9社
企業理念	

にしてつグループは、
「出逢いをつくり、期待をはこぶ」事業を通して、
“あんしん”と
“かいてき”と
“ときめき”を
提供しつづけ、
地域とともに歩み、ともに発展します。

グループの営業概況(08/3期中間)



連結営業収益 1,741億円



セグメント	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業
営業収益	499億円	487億円	202億円	537億円	231億円
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 鉄道 ➢ バス ➢ タクシー ➢ 貨物運送 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ストア 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 賃貸 ➢ 分譲 ➢ 管理 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 航空貨物 ➢ ホテル ➢ 旅行 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 製造・整備 ➢ 建設・設計 ➢ 電気工事

グループ間消去額 215億円

連結損益の実績(総括)



	0 6 / 9	0 7 / 9	増 減 額	増 減 率
営業収益	1,727億円	1,741億円	14億円	0.8%
営業利益	96億円	78億円	18億円	18.6%
経常利益	89億円	68億円	21億円	23.3%
中間純利益	44億円	30億円	14億円	32.2%
減価償却費	89億円	94億円	5億円	5.7%
E B I T D A	186億円	174億円	13億円	6.8%
設備投資	71億円	114億円	43億円	60.4%

1. EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費(営業費)

2. 設備投資は単純集計です。

増減内訳	運 輸 業	流 通 業	不 動 産 業	レジャー・サービス業	その他の事業	合 計 (消去後)
営業収益	3億円	+11億円	5億円	+3億円	+20億円	+14億円
営業利益	5億円	3億円	4億円	6億円	0億円	18億円

< 運輸業 >



	0 6 / 9	0 7 / 9	増 減 額	増 減 率
営業収益	503億円	499億円	3億円	0.7%
営業利益	23億円	17億円	5億円	24.1%
減価償却費	44億円	49億円	4億円	9.6%
E B I T D A	67億円	66億円	1億円	1.7%
設備投資	42億円	59億円	17億円	40.8%

増減内訳	鉄 道	バ ス	そ の 他	合計(消去後)
営業収益	2億円	2億円	1億円	3億円
営業利益	3億円	3億円	0億円	5億円

～ 鉄道事業 ～



	0 6 / 9	0 7 / 9	増 減 額	増 減 率
営 業 収 益	130億円	128億円	2億円	1.4%
(旅 客 収 入)	111億円	109億円	2億円	1.5%
営 業 利 益	22億円	19億円	3億円	13.5%
旅 客 人 員	56百万人	55百万人	1百万人	1.8%
(定 期 外)	27百万人	27百万人	0百万人	1.5%
(定 期)	29百万人	28百万人	1百万人	2.0%

旧宮地岳線(現貝塚線)の一部区間を廃止しております。

天神大牟田線旅客人員増減率 0.8%(定期外 0.6%、定期 1.0%)

営業収益、営業利益は単純集計です。

～ バス事業 ～



	0 6 / 9	0 7 / 9	増 減 額	増 減 率
営業収益	340億円	338億円	2億円	0.7%
(旅客収入)	290億円	288億円	2億円	0.5%
営業利益	1億円	4億円	3億円	-

乗合バス

旅客人員	148百万人	147百万人	1百万人	0.5%
(定期外)	89百万人	87百万人	2百万人	1.8%
一般	85百万人	83百万人	2百万人	1.8%
高速	4百万人	4百万人	0百万人	1.3%
(定期)	59百万人	60百万人	1百万人	1.5%

営業収益、営業利益は単純集計です。

< 流通業 >

	0 6 / 9	0 7 / 9	増 減 額	増 減 率
営 業 収 益	4 7 6 億 円	4 8 7 億 円	1 1 億 円	2 . 3 %
営 業 利 益	1 2 億 円	9 億 円	3 億 円	2 6 . 8 %
減 価 償 却 費	6 億 円	6 億 円	0 億 円	3 . 0 %
E B I T D A	1 9 億 円	1 7 億 円	3 億 円	1 5 . 0 %
設 備 投 資	7 億 円	7 億 円	0 億 円	2 . 4 %

< 不動産業 >



	0 6 / 9	0 7 / 9	増 減 額	増 減 率
営 業 収 益	207億円	202億円	5億円	2.2%
営 業 利 益	44億円	40億円	4億円	8.0%
減 価 償 却 費	30億円	30億円	0億円	0.9%
E B I T D A	74億円	70億円	4億円	5.1%
設 備 投 資	14億円	36億円	23億円	163.1%

増 減 内 訳	賃 貸 業	分 譲 業	そ の 他	合 計 (消 去 後)
営 業 収 益	+2億円	8億円	0億円	5億円
営 業 利 益	+1億円	4億円	0億円	4億円

～ 不動産業の内訳 ～

		0 6 / 9	0 7 / 9	増 減 額	増 減 率
賃 貸 業	営 業 収 益	109億円	111億円	2億円	1.7%
	営 業 利 益	41億円	41億円	1億円	1.4%
分	営 業 収 益	78億円	71億円	8億円	9.8%
	営 業 利 益	2億円	2億円	4億円	-
讓 業	販 売 戸 数	232戸	204戸	28戸	12.1%
	(マ ン シ ョ ン)	98戸	68戸	30戸	30.6%
	(戸 建)	134戸	136戸	2戸	1.5%

営業収益・営業利益は単純集計です。

< レジャー・サービス業 >



	0 6 / 9	0 7 / 9	増 減 額	増 減 率
営業収益	534億円	537億円	3億円	0.6%
営業利益	9億円	4億円	6億円	59.3%
減価償却費	9億円	10億円	0億円	4.6%
E B I T D A	19億円	13億円	5億円	27.5%
設備投資	6億円	9億円	3億円	58.4%

増減内訳	航空貨物事業	ホテル業	その他	合計(消去後)
営業収益	5億円	7億円	8億円	3億円
営業利益	2億円	1億円	3億円	6億円

～ レジャー・サービス業の内訳 ～



		0 6 / 9	0 7 / 9	増 減 額	増 減 率
航空貨物事業	営業収益	357億円	362億円	5億円	1.3%
	営業利益	6億円	4億円	2億円	37.1%
	航空輸出(重量)	65千トン	63千トン	2千トン	3.2%
	航空輸入(件数)	190千件	186千件	4千トン	2.2%
	海運輸出(TEU)	11千TEU	13千TEU	3千TEU	25.5%
	海運輸入(TEU)	13千TEU	16千TEU	3千TEU	21.3%
ホテル業	営業収益	79億円	87億円	7億円	9.1%
	営業利益	1億円	0億円	1億円	81.4%

TEU(twenty foot equivalent units) : コンテナ船における積載量を示す単位。
1TEUは20フィートコンテナ1個分。

営業収益・営業利益は単純集計です。

< その他の事業 >

	0 6 / 9	0 7 / 9	増 減 額	増 減 率
営業収益	211億円	231億円	20億円	9.6%
営業利益	6億円	6億円	0億円	0.9%
減価償却費	3億円	3億円	0億円	8.9%
E B I T D A	9億円	9億円	0億円	2.3%
設備投資	2億円	3億円	0億円	4.9%

連結キャッシュ・フロー



	0 6 / 9	0 7 / 9	増 減 額
営 業 活 動	1 6 1 億円	8 3 億円	7 9 億円
(税 前 中 間 純 利 益)	8 2 億円	6 2 億円	2 0 億円
(退 職 給 付 引 当 金 の 減 少 額)	5 億円	1 9 億円	1 4 億円
(売 上 債 権 の 減 少 額)	4 7 億円	2 5 億円	2 2 億円
(た な 卸 資 産 の 増 加 額)	3 億円	1 9 億円	1 6 億円
投 資 活 動	8 1 億円	8 7 億円	7 億円
(固 定 資 産 の 取 得)	9 6 億円	1 2 8 億円	3 2 億円
(受 託 工 事 金 等 の 受 入)	2 1 億円	2 7 億円	6 億円
財 務 活 動	4 5 億円	1 8 億円	2 7 億円
(借 入 金 ・ 社 債)	3 2 億円	5 億円	2 8 億円
合 計	3 5 億円	2 1 億円	5 7 億円

連結貸借対照表



		0 7 / 3	0 7 / 9	増 減 額
資 産 の 部	流 動 資 産	1,016億円	975億円	41億円
	固 定 資 産	3,220億円	3,165億円	55億円
	(投資有価証券評価差額)	261億円	206億円	55億円
資 産 合 計		4,236億円	4,140億円	96億円
負 債 ・ 純 資 産 の 部	流 動 負 債	1,241億円	1,173億円	68億円
	固 定 負 債	1,837億円	1,819億円	18億円
	負 債 合 計	3,078億円	2,992億円	86億円
	(有利子負債残高)	1,575億円	1,571億円	5億円
	純 資 産	1,158億円	1,148億円	10億円
(有価証券評価差額金)		155億円	122億円	33億円

2007年度事業計画 及び 収支予想

第11次中計のグループビジョン



企業理念の実現



<グループビジョン>

「成長に挑戦する西鉄グループ」

(sub vision) ~安全とお客様満足(CS)の向上、企業価値の向上~
~私たち一人ひとりの成長と挑戦により実現を目指します~

安全、信頼の向上

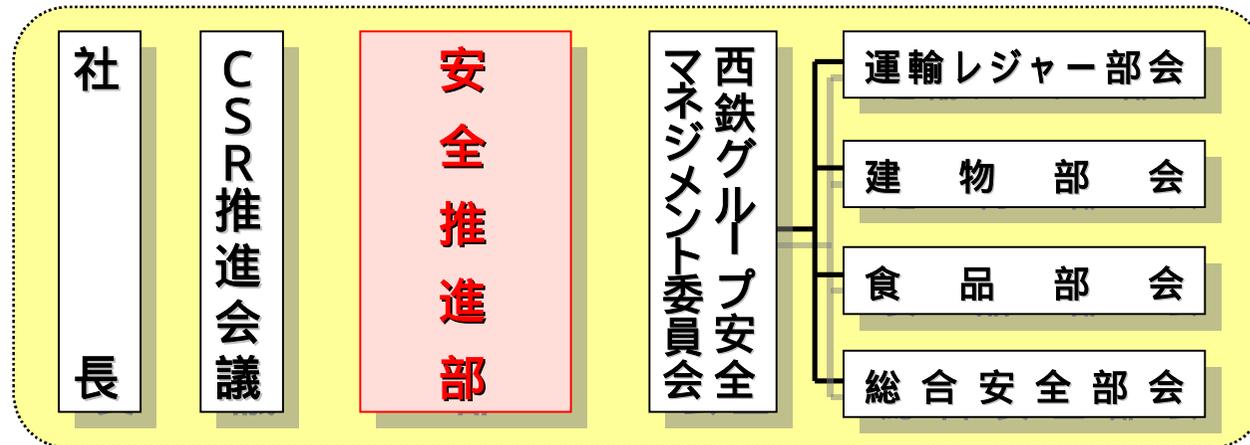
企業価値の向上

地域や社会との共生

重点戦略 「安全、信頼の向上」

安全マネジメント体制のさらなる強化

➤ 「安全推進部」の新設



➤ 「建築技術主幹」の設置

➤ 「安全推進課」の新設

- ・ 運輸部門に設置(鉄道、バス)

重点戦略 「安全、信頼の向上」

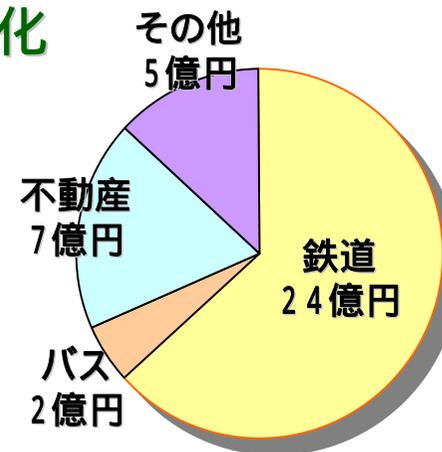


安全に対する具体的取り組み

- 「天神大牟田線(春日原～下大利間約3.5km)連続立体交差事業」の推進
 - ・ 同区間3駅を高架駅化。12ヶ所の踏切を除去(2014年完成予定)
- 鉄道構造物の耐震強化、橋梁補強
- バスにおける安全装備の導入
- 運輸部門における「安全報告書」のホームページ掲出及び鉄道部門で「安全に向けての取り組み2007」発行
- オフィスビル、商業施設の耐震強化

安全対策投資

- 総額38億円(2007年度)



「安全にむけての取り組み2007」

重点戦略 「企業価値の向上」

重点分野

- 国際物流事業の規模の拡大及び流通業の強化
- 不動産部門への積極投資による安定収益の拡大
- バス事業の収支改善



国際物流事業の規模の拡大 (1)

< 国際物流事業; 世界主要各国を網羅する営業、輸送のネットワークを構築 >

海外18ヶ国56都市(現地法人、駐在事務所) 07年9月末現在



< 輸出重量・輸入件数の推移 >



国際物流事業の規模の拡大 (2)



グローバルネットワークの拡充

➤ 現地法人の設立及び拠点の拡充

- ・ ベトナム(ホーチミン)現地法人(07年11月予定)
- ・ ポーランド(ヴロツワフ)支店(今年度予定)
- ・ 中国(複数)支店(今年度予定)

海運事業の強化

➤ 自社定期混載サービスの拡充

- ・ ジャカルタ(07年7月)、ロッテルダム(07年9月)

➤ 自社通関拠点の拡充

- ・ 横浜港(07年4月)

国際物流事業の規模の拡大 (3)

ロジスティクス事業の強化

- 「りんくうロジスティクスセンター」の拡充
- 「TAPA認証()」の取得拡大

・ シンガポール現地法人で取得(07年7月)

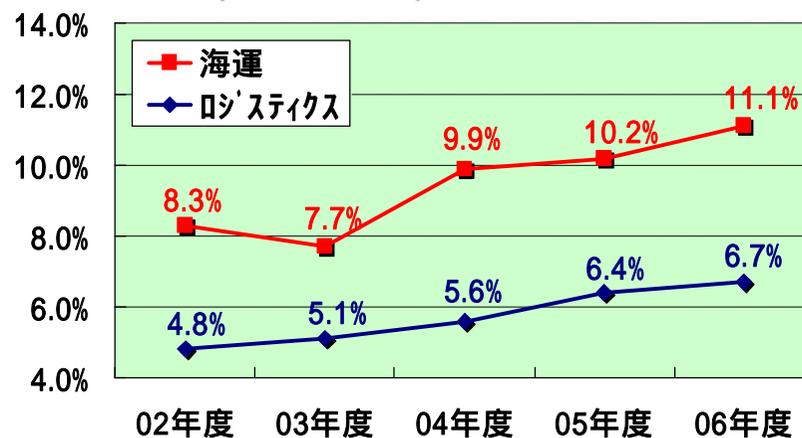
Transported Asset Protection Association

(運送・保管のセキュリティ向上を目的に、大手ハイテク企業を中心となって設立された非営利団体。ここが発行する認証制度)



「りんくうロジスティクスセンター」

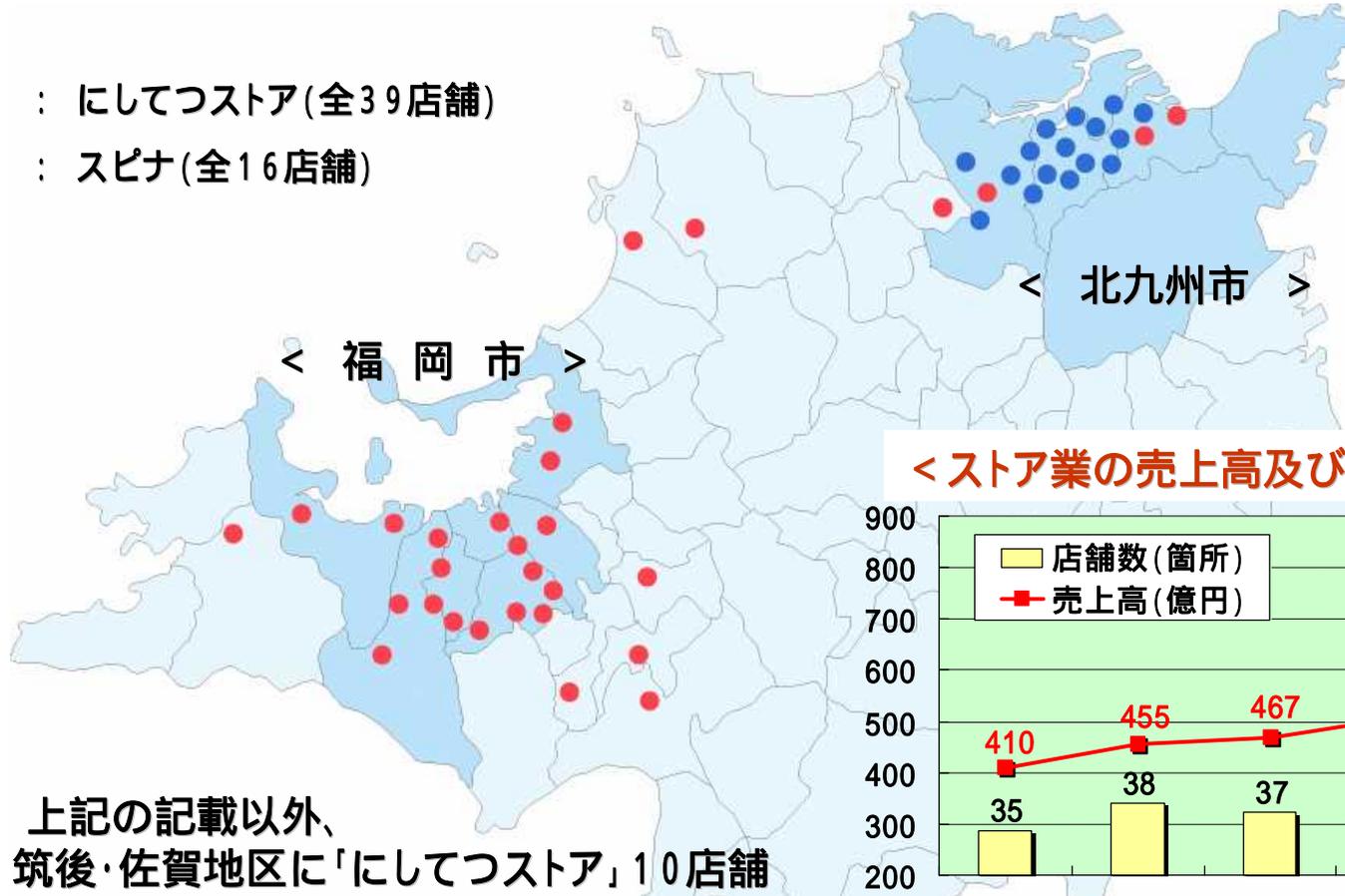
< 部門別(海運・ロジ)売上構成比の推移 >



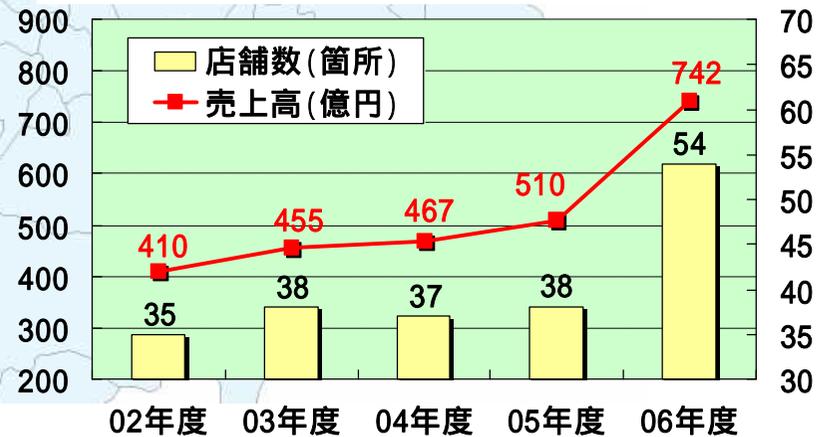
流通業の強化 (1)

スーパーマーケットの店舗網(07年9月末時点で55店舗)

- : にしてつストア(全39店舗)
- : スピナ(全16店舗)



< ストア業の売上高及び店舗数の推移 >



流通業の強化 (2)

スーパーマーケットのスクラップ&ビルド、リニューアルの推進

➤ 新規オープン

	オープン月	売場面積
スピナ鷹見台店	07年4月	約830㎡
スピナマート大手町店	07年10月	約2,300㎡
西鉄ストア東那珂店	08年2月(予定)	約2,000㎡



「スピナマート大手町店」



「西鉄ストア東那珂店」

流通業の強化 (3)

スーパーマーケットのスクラップ&ビルド、リニューアルの推進

➤ リニューアルの実施

	リニューアル月	売場面積
西鉄ストア薬院店	07年5月	約522㎡
西鉄ストア到津店	07年7月	約2,377㎡
西鉄ストア中尾店	07年11月(予定)	約2,605㎡
スピナ枝光店	07年12月(予定)	約826㎡
スピナ紅梅店	08年3月(予定)	約992㎡



「西鉄ストア薬院店」

流通業の強化 (4)

業務の効率化

- 「西鉄ストア篠栗物流センター」の稼動(07年10月)
 - ・ 福岡県内5箇所にある物流センターを統合
- 「NKS活動(西鉄ストア改善システム)」の推進
 - ・ 「トヨタ式カイゼンシステム」に沿った店舗運営改善プロジェクト



「物流センター(外観)」



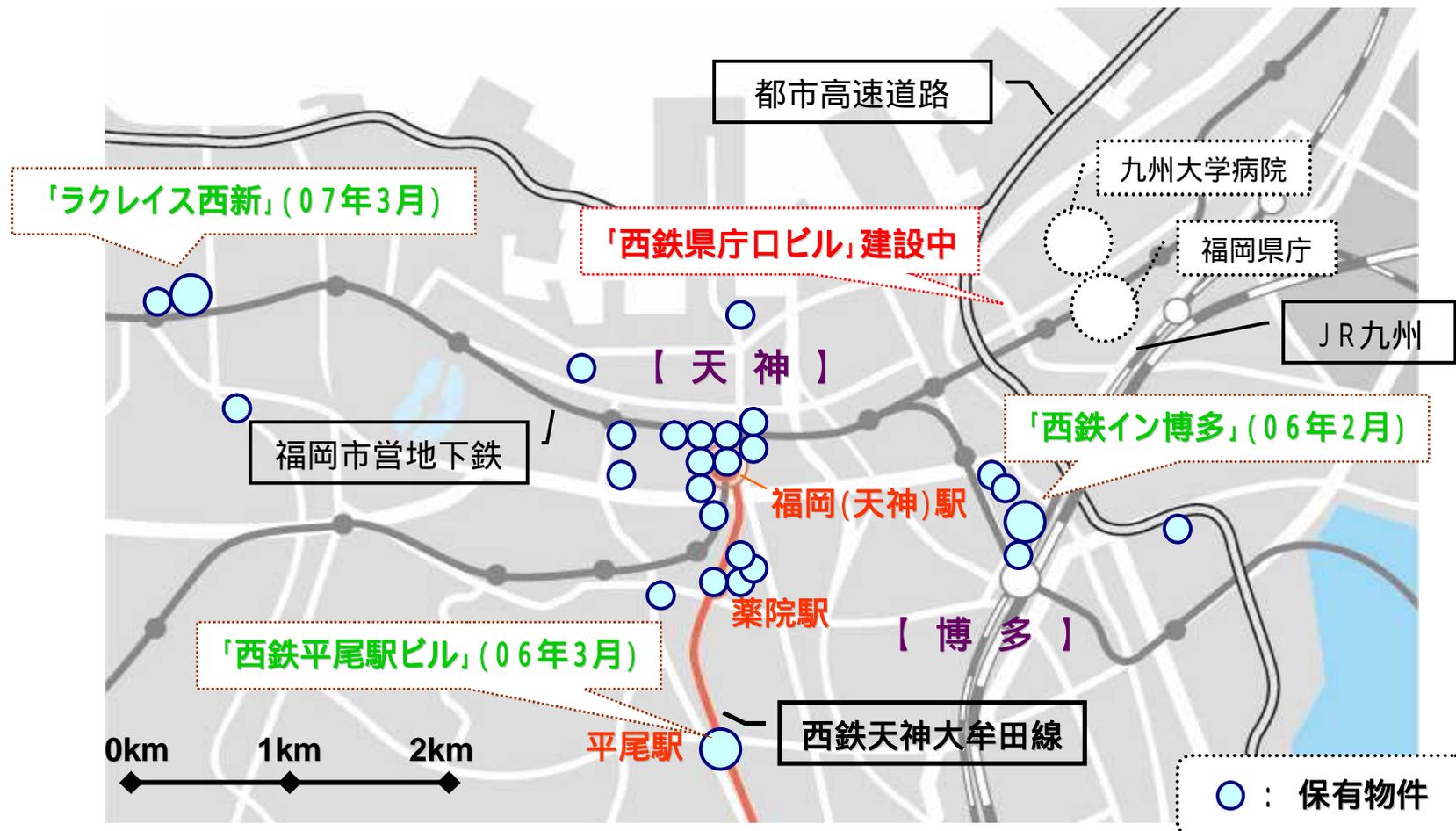
「物流センター(入口)」



「物流センター(内部)」

不動産部門への積極投資による 安定収益の拡大 (1)

福岡都心部における主な保有物件及び開発状況



不動産部門への積極投資による 安定収益の拡大 (2)

新規開発の推進

- 「スピナガーデン大手町」のオープン(07年10月)
 - ・ スピナマート、ドラッグストア、書店、飲食他、13店舗の「ショッピングセンター」
- 「西鉄県庁口ビル」の建設(08年2月予定)
 - ・ 賃貸マンション棟、オフィス棟、駐車場棟からなる「複合型賃貸マンション」

商業施設のリニューアルによる競争力アップ

- 「天神コア」6階のリニューアル(07年9月)



< 賃貸面積及び収入の推移 >



不動産部門への積極投資による 安定収益の拡大 (3)

ビジネスホテルの新規展開

- 「西鉄イン福岡」のオープン(07年7月)
 - ・ 福岡市中央区天神に立地(266室)
- 「西鉄イン小倉」の増築(08年4月予定)
 - ・ 客室数が252室増加。合計570室に
- 「西鉄イン高知(仮称)」の建設(08年6月予定)
 - ・ 高知市「はりまや橋」に隣接(250室)



「西鉄イン福岡」



「西鉄イン小倉(増築後イメージ)」



「西鉄イン高知(仮称)」

バス事業の収支改善 (1)

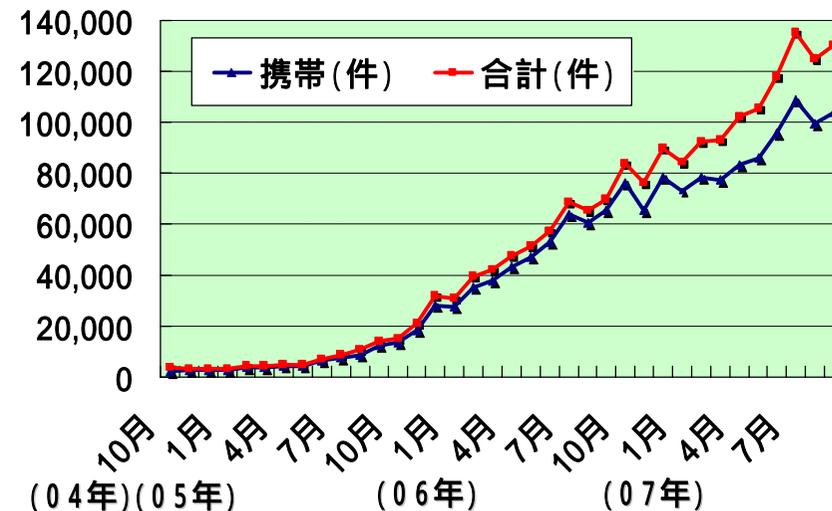
ITを活用した新しいバスシステムの構築

- 「**にしてつバスナビ**」の導入推進
 - ・ 1日あたり約13万件のアクセス(07年9月実績)
 - ・ 08年3月末までに当社グループの路線バス全エリアで導入完了予定
- 「**デジタルタコグラフ**」の導入推進
 - ・ 当社グループの約3,400台の車両に導入完了(07年9月末)



「デジタルタコグラフ(車載機)」

< 「バスナビ」1日あたりのアクセス件数の推移 >



バス事業の収支改善 (2)

ITを活用した新しいバスシステムの構築

➤ 「ドライブレコーダー」の導入推進

- ・ 福岡地区の路線バスを中心に約570台導入(今年度予定)

事業者の垣根を越えた連携の取り組み

➤ オール九州・高速バス予約システム「楽バス」の開発(05年3月)

- ・ 高速バスの予約・発券システムを共通化
- ・ ローソン、ファミリーマート等のコンビニエンスストアで発券・購入が可能



➤ 高速バスロケーションシステム「Qバスサーチ」の整備(06年3月)

バス事業の収支改善 (3)

事業者の垣根を越えた連携の取り組み

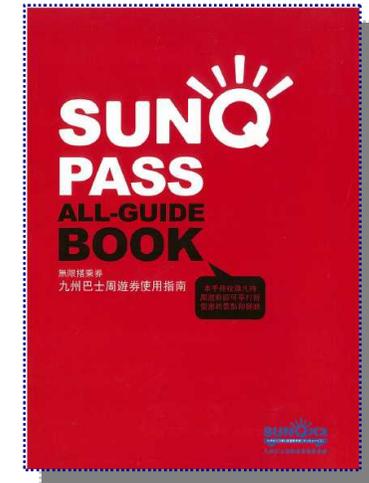
➤ 「SUNQパス」の累計発売枚数が50,000枚を突破

- 九州内の高速、並びに一般路線バスが3日間乗り放題

累計発売実績(06年4月~)

券種(価格)	累計発売枚数	発売場所	
		国内	韓国・台湾
北部九州 (6千円、8千円)	約26千枚	53%	47%
全九州 (1万円)	約24千枚	100%	-
合計	約50千枚	75%	25%

北部九州版は、福岡・佐賀・大分・長崎・熊本の5県が対象。



「台湾版専用ガイドブック」
韓国版・日本版もあり

➤ 高速基山バス停における高速バス乗り継ぎ利便性の強化

- 同バス停の停車便数を拡大(約240往復を約480往復に倍増)
- 乗り継ぎ割引運賃の導入

新たな事業展開と事業の裾野拡大

ICカード「nimoca(ニモカ)」の導入

「バスにも、電車にも、お買い物にもいろいろ使えるオールラウンドなカード」。
「nice money card」の略で、利便性の高い地域通貨という意味。

➤ サービス内容

- (1) 交通乗車券(SF、定期券)

SF(Stored Fare):カードに蓄積されたプリペイド残高

- (2) 電子マネー
- (3) ポイント(交通・商業)
- (4) クレジット(オートチャージ含む)

➤ 導入時期

08年春



「カードデザイン(定期券)」

「社会・環境報告書2007」の発行(07年9月)

- ・ 当社の取り組みを「社会との調和」「環境との調和」として紹介

創立100周年の取り組み

➤ 記念事業の取り組み

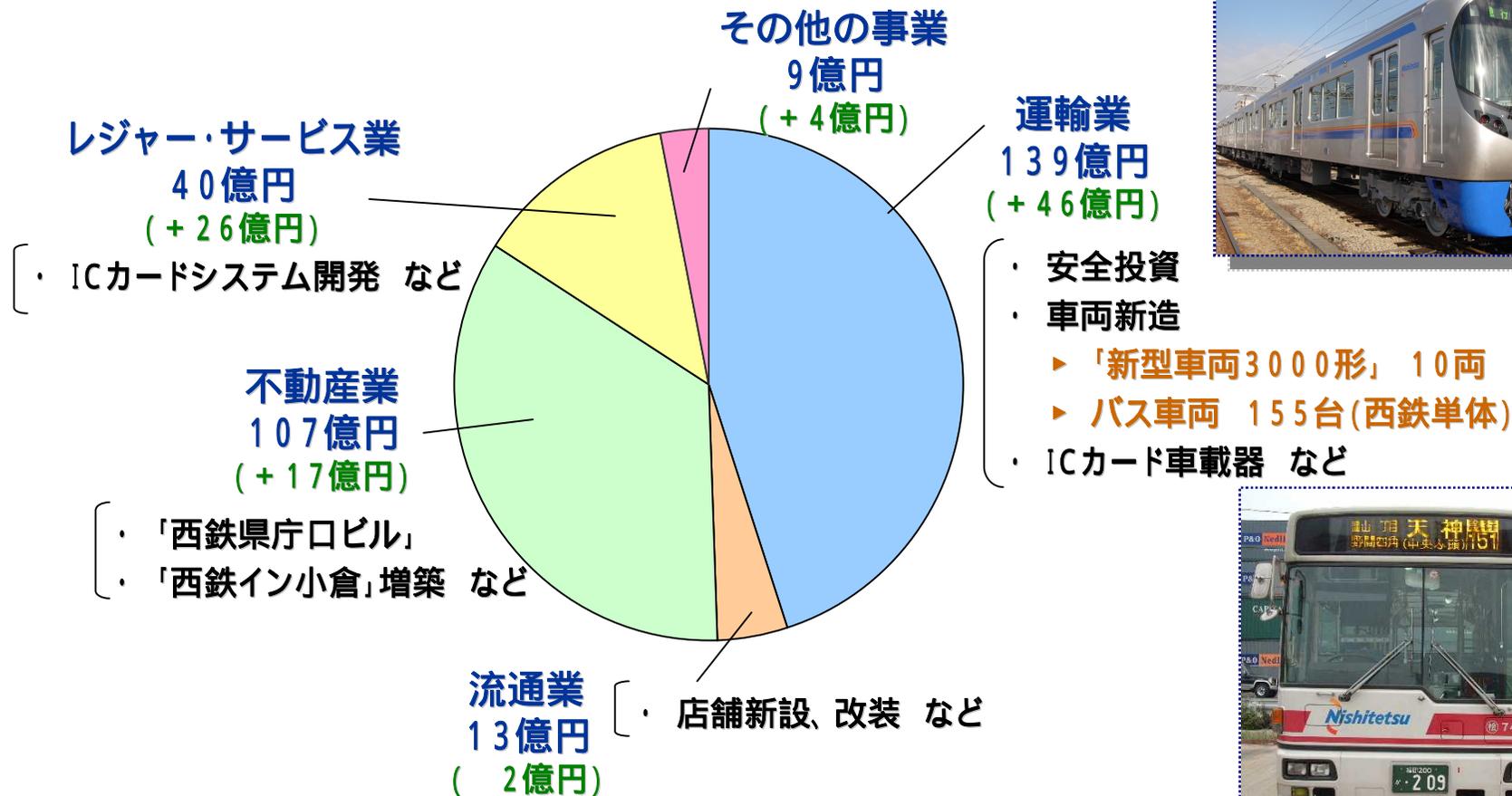
- ・ 九州国立博物館特別展開催
- ・ アジア太平洋こども会議・イン福岡(APCC)20周年記念 特別協賛
- ・ バスカラーリングの変更
- ・ 制服のリニューアル
- ・ 100周年記念イベント
- ・ 西日本鉄道100年史の編纂、発行
- ・ その他

➤ 「記念ロゴマーク」の決定



2007年度投資計画

《 総額308億円 (対前年41.3%、90億円の増) 》



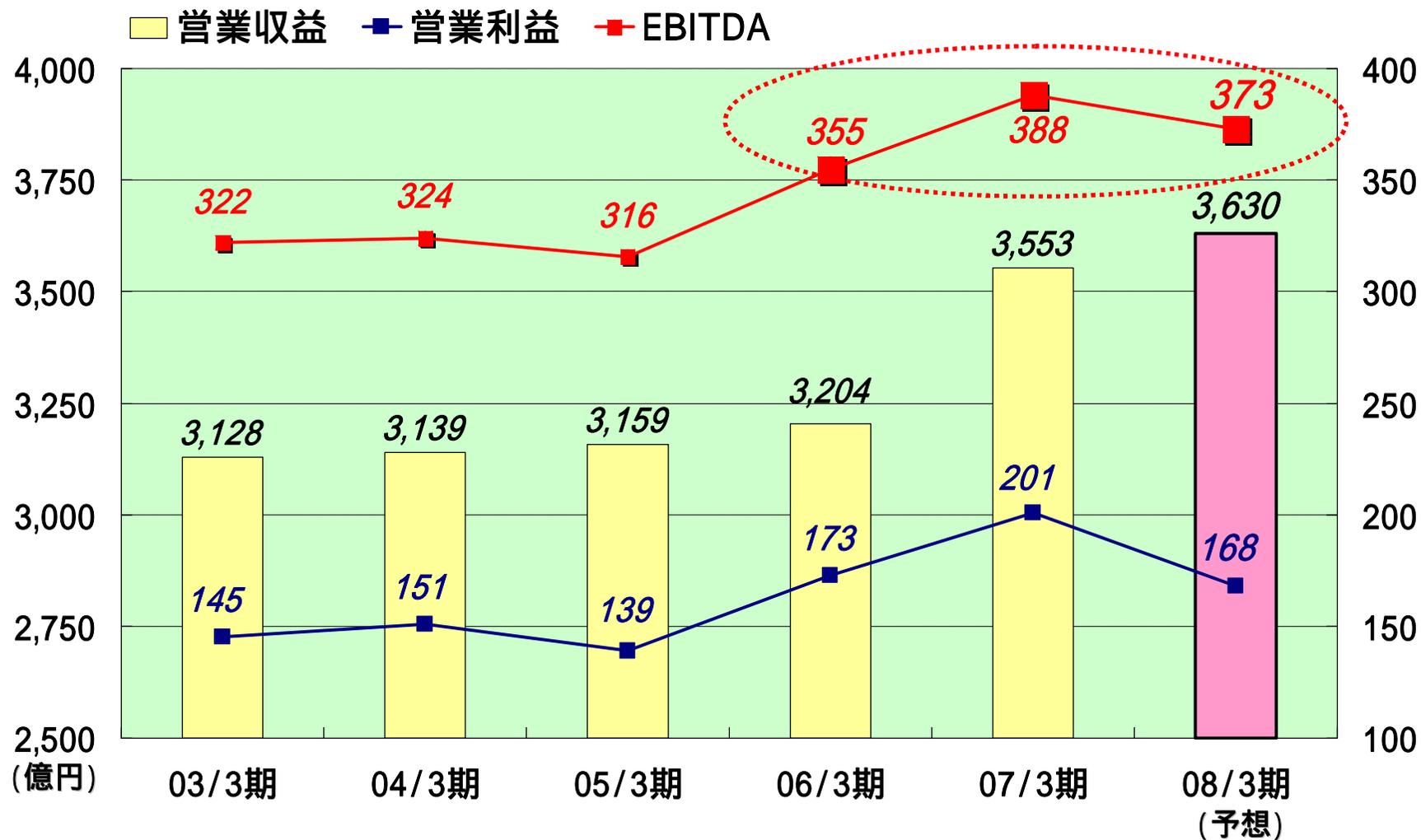
2007年度連結収支予想(総括)



	07/3期(実績)	08/3期(予想)	増減額	増減率
営業収益	3,553億円	3,630億円	77億円	2.2%
営業利益	201億円	168億円	33億円	16.3%
経常利益	187億円	148億円	39億円	20.7%
当期純利益	88億円	68億円	20億円	22.4%
減価償却費	185億円	202億円	17億円	9.1%
E B I T D A	388億円	373億円	15億円	4.0%
設備投資	218億円	308億円	90億円	41.3%

設備投資は単純集計です。

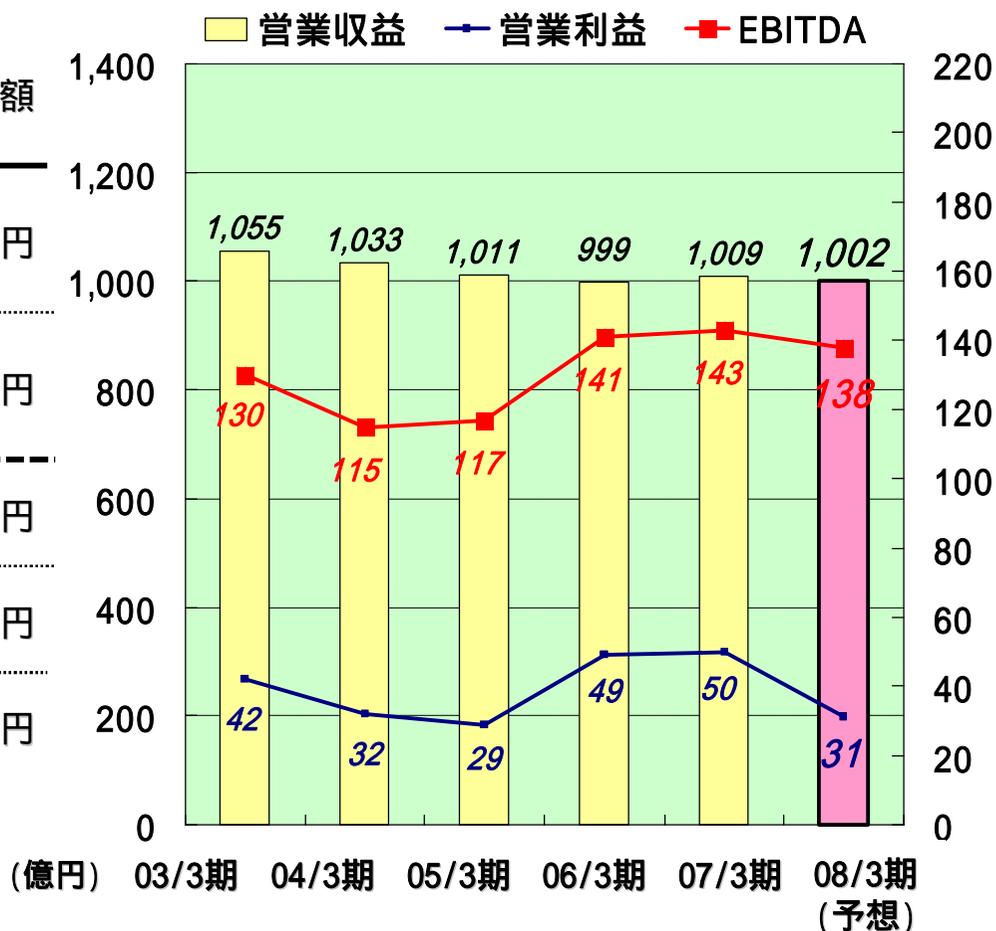
連結損益の推移



運輸業の収支予想



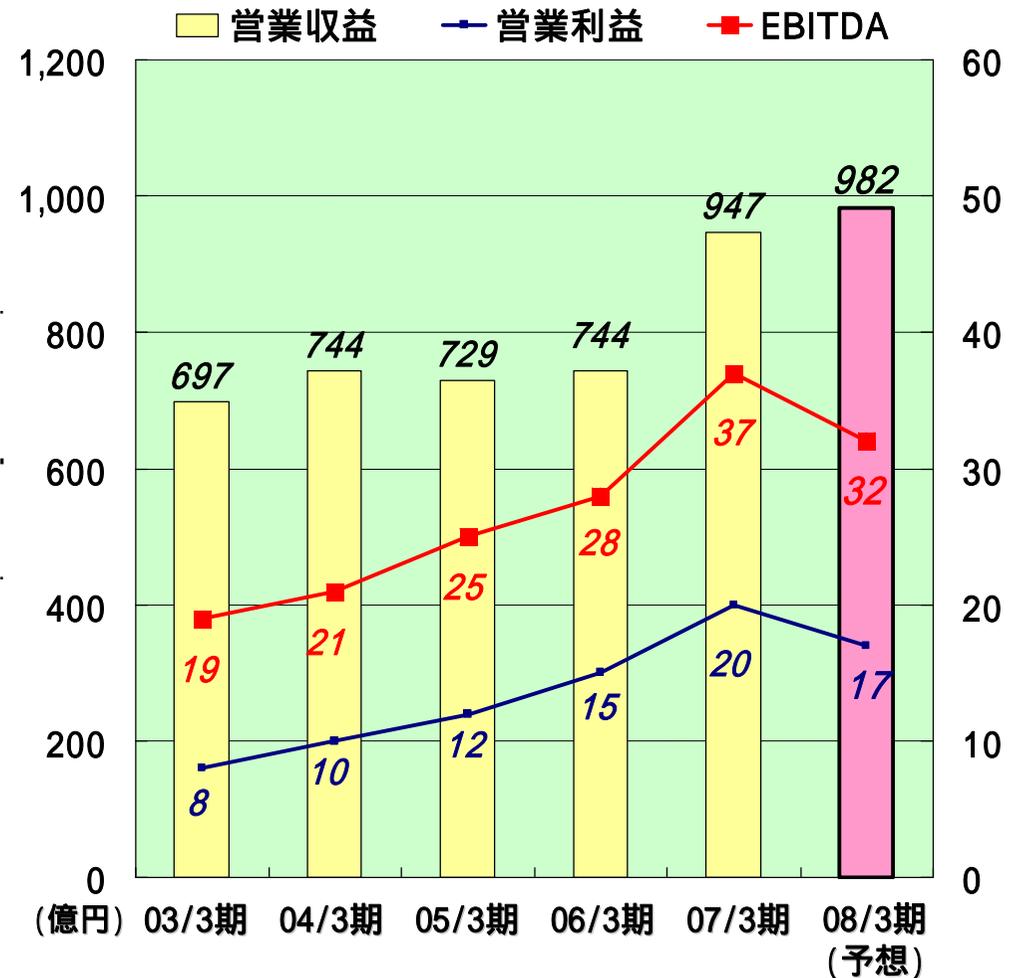
	07/3期 (実績)	08/3期 (予想)	増減額
営業収益	1,009億円	1,002億円	7億円
営業利益	50億円	31億円	19億円
減価償却費	94億円	107億円	14億円
EBITDA	143億円	138億円	5億円
設備投資	93億円	139億円	46億円



流通業の収支予想



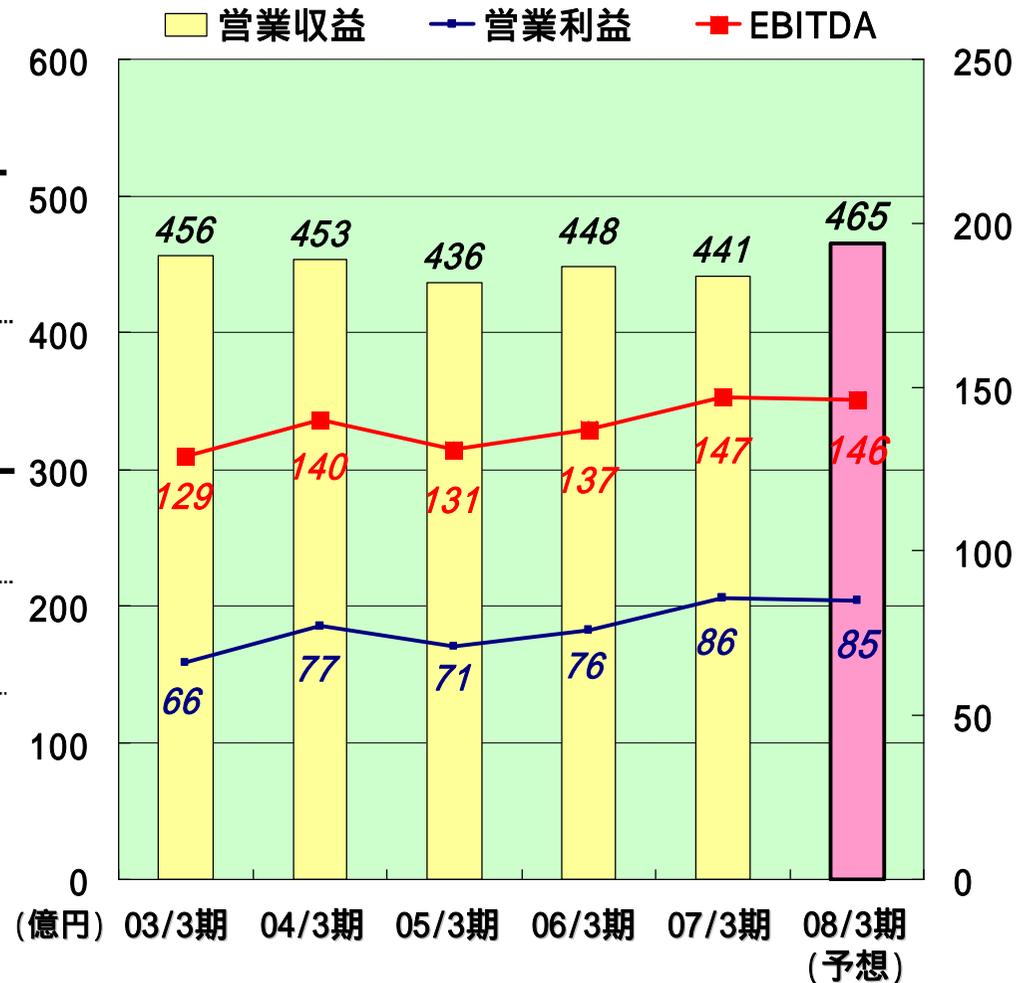
	07/3期 (実績)	08/3期 (予想)	増減額
営業収益	947億円	982億円	35億円
営業利益	20億円	17億円	3億円
減価償却費	14億円	12億円	2億円
EBITDA	37億円	32億円	5億円
設備投資	15億円	13億円	2億円



不動産業の収支予想



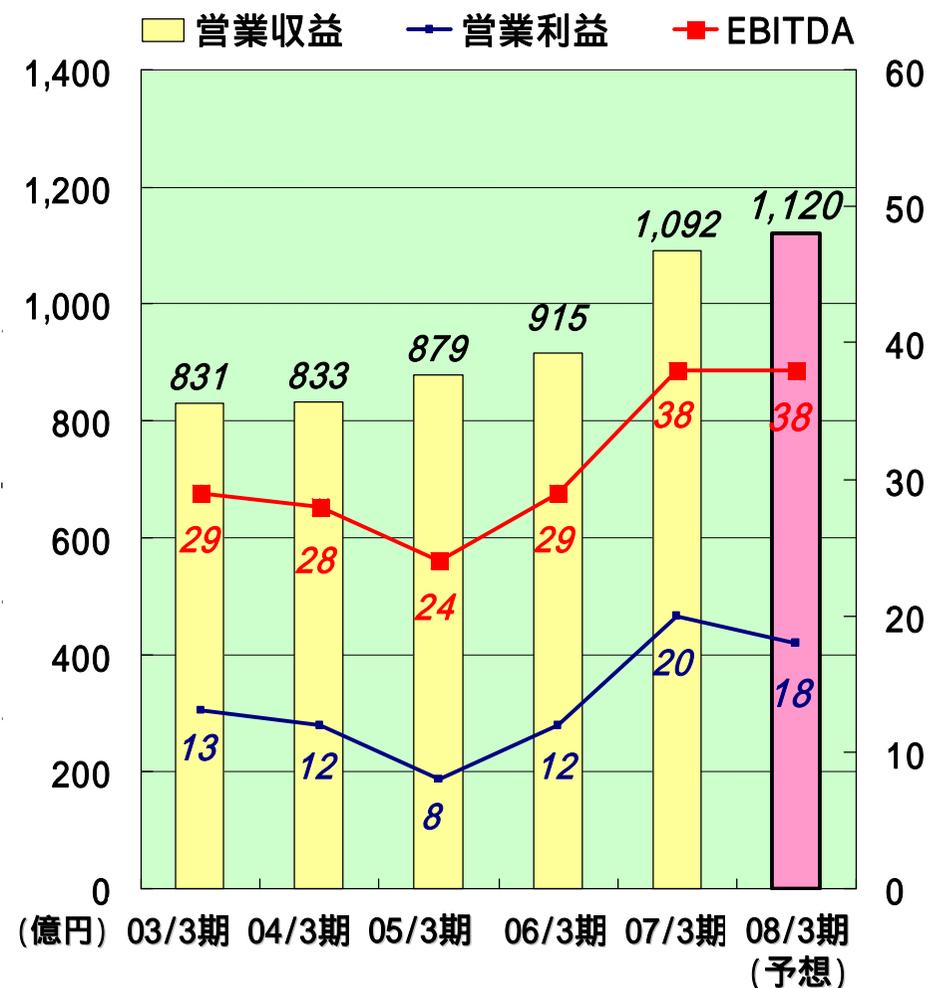
	07/3期 (実績)	08/3期 (予想)	増減額
営業収益	441億円	465億円	24億円
営業利益	86億円	85億円	2億円
減価償却費	61億円	62億円	1億円
EBITDA	147億円	146億円	1億円
設備投資	90億円	107億円	17億円



レジャー・サービス業の収支予想

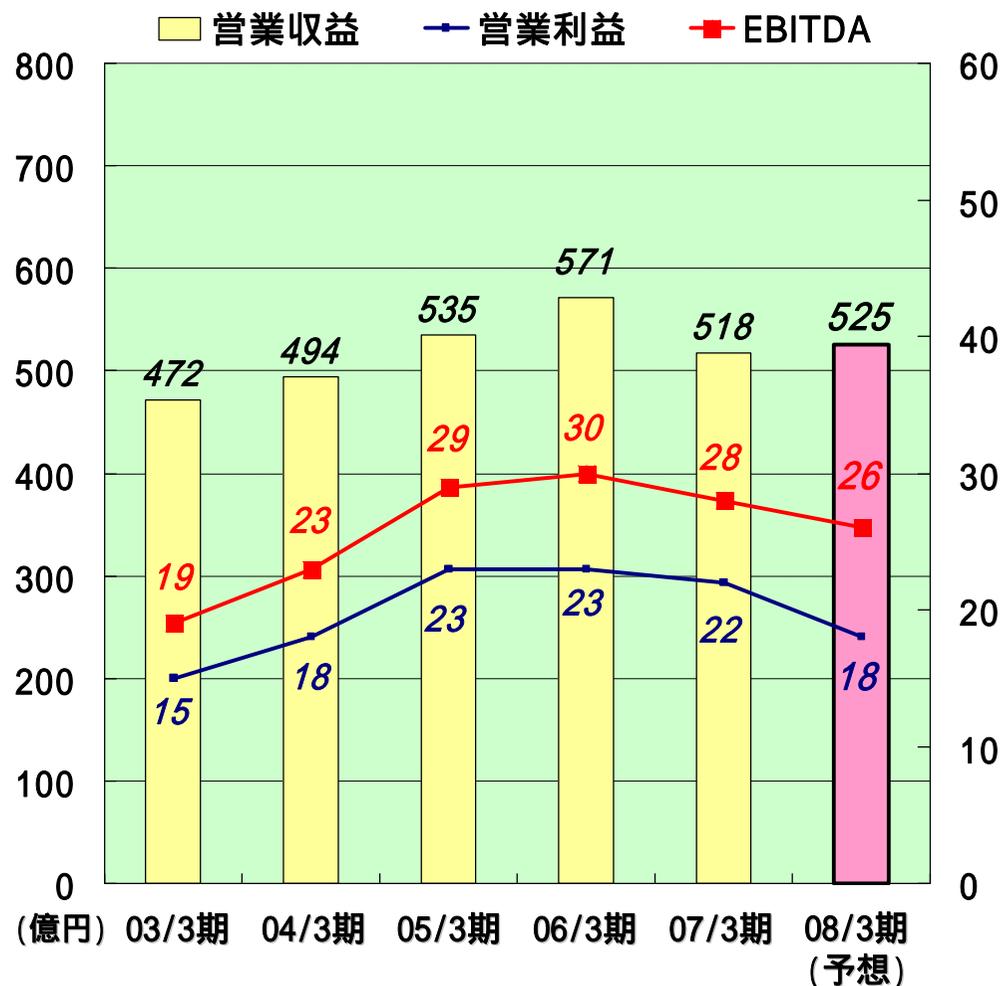


	07/3期 (実績)	08/3期 (予想)	増減額
営業収益	1,092億円	1,120億円	28億円
営業利益	20億円	18億円	2億円
減価償却費	18億円	20億円	2億円
EBITDA	38億円	38億円	0億円
設備投資	14億円	40億円	26億円



その他の事業の収支予想

	07/3期 (実績)	08/3期 (予想)	増減額
営業収益	518億円	525億円	7億円
営業利益	22億円	18億円	5億円
減価償却費	6億円	8億円	2億円
EBITDA	28億円	26億円	3億円
設備投資	5億円	9億円	4億円





本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含んだものです。将来の業績は経営環境の変化などにより目標と異なる可能性があることにご留意ください。